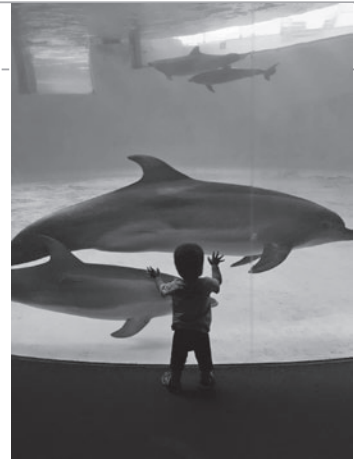




暴君とストレスと私

会員 吉利 浩美 (63期)



機嫌が悪くなると周囲の人間に当たり散らす。ときには暴力も厭わない。

家事を自分では一切しようとしないが、食事は人一倍とり、部屋も毎日散らかす。

まったく働かないわりに、誰よりもお金がかかる生活をしている。

2年ほど前から、そんな人間と家庭を共にしている。

離婚相談でよく聞きそうな話だが、あいにく私の夫ではない。

2歳になる我が家の長男である。

成人で同じことをしたら間違いなく見放されるが、幼いうちは暴挙に出ても可愛く見えるから不思議だ。

長男は生後4か月ほどで保育園に入り、今に至っている。保育園への送迎の前後が暴挙のピークである。

起床して1分と経たずに、ベビーチェアに鎮座して朝食をとり始めるのだが、なぜか食後にベビーチェアから降りたがらない。無理やり降ろそうものなら、この世の終わりのように泣き続ける。着替えるのも気に食わないらしく、パジャマのままがいいと訴える。

保育園へ行く道に少しでも段差を見つけるとそれを使って昇降運動を始め、そろそろ運動をやめて歩くよう促すと、道路にしゃがみこんで動かなくなる。

何とかして保育園に送り届け、出勤後仕事を始めたと思ったら、あっという間にお迎えに行く時間になる。

保育園から引き渡しを受けた後の家までの帰り道は、行きに比べるととてもスムーズだ。なぜかという、空腹のあまり夕食を早く食べたいからであって、家に着くやいなや、早く食事を出せと泣いて訴える。かと言って、出した食事は全部食べずに、好物の肉と炭水化物を片付けた後で、残った野菜を投げたり突いたりして遊んでいる。

育児日記が愚痴のようになっているが、この暴君相手にもさほどストレスなく（もちろん腹の立つこともよくあるが）楽しめている。

理由のひとつには、育児の疲れを感じる前に仕事復帰したことがあるように思う。日中は仕事に打ち込み、家では長男に振り回されることでその気分転換をし、またその逆もある。

家族の助けも大きい。

夫は洗濯、長男の風呂を日常業務としてこなし、恐ろしく子煩悩でもある。

ところが先日、1週間ほど夫が泊まりで出張となり、流行りの「ワンオペ育児」を体験した。某飲食店で話題になった「ワンオペ」を、1人で家事育児仕事をする夫または妻に当てはめた言葉だ。

結論から言うと、もちろん1週間という短期間であったこともあって、物理的には不可能ではなかった。

ただ、長男の暴挙に対して1人で攻防せざるを得ない状況は、短期間でも疲労感があり、これに終わりが見えない状況だったらと想像すると確かに辛い。

家庭内で処理すべき家事と育児がいくつかあるなかで、自分への負担が過分ではないという認識と満足感が、ストレスがない要因のようだった。

あと何年かしたら、私のストレスをさらに軽減させて円満な家庭を継続するためにも、洗濯物量みと風呂掃除は長男にやってもらうことにしよう。

と、寒空の中でコートを脱ぎたいと訴える長男をなだめながら考えている。